青嶺高だより

山口県立青嶺高等学校
0907-2号
平成21年7月10日

機械科・電気科
ものづくりコンテスト中国大会ダブル出場

六月二十一日に開催された、高校生ものづくりコンテスト中国大会の「旋盤作業部門」に機械科三年の安達信繁君が、「電気工事部門」に電気科二年の松本拓也君が出場しました。

二人は共にメカトロ研究部に所属しており、それぞれの専門科目で学んだ基本技術をベースにしながら、放課後や休日に猛練習を重ねてきました。

また、現場で活躍しておられる高度熟練技能者の御指導もいただき、県内工業高校の代表が集った県予選会を優秀な成績で勝ち抜くことができました。

機械科・電気科の中国大会ダブル出場は、美祢工高時代を通じても初の快挙であり、本校の「ものづくり教育」の進展にいっそうの弾みがつくものと期待されます。

県大会で表彰を受ける安達君

中国大会で旋盤作業に取り組む安達君

１２名中４位。表彰状まであと一歩でした。

中国大会で電気工事作業に取り組む松本君

２年生ながら、１２名の中で６位と大健闘でした。

練習風景

新幹線などの鉄道車両を製造する㈱日立製作所（下松市）の渡部マイスター（高度熟練技能者）の御指導も仰ぎ、技を磨きました。

課題は、0.02㎜という髪の毛の細さレベルの精度が求められます。写真は、作業で使用する精密測定器具です。

安達君と共に橋本君も練習してきました。中国大会出場はならなかったものの、県６位と大健闘しました。

研修を兼ねた普通科の先生方の激励（見学）も大いに励みになりました。

電気工事では、地域民間講師として㈲平和電業社の松原氏に御来校いただき、アドバイスを受けました。

２時間という制限時間内に安全で、正確な作業をするのはもちろんのこと、仕上がりの美しさも重要なポイントとなります。

その他の取組スナップ

７月２５日（土）に開催される山口県溶接競技大会に向けた特訓も行われています。

右写真は、三菱重工業㈱下関造船所で活躍されている吉村マイスターの御指導を受けている様子です。

また、電気科では、電気工事士試験に向けた勉強会が夜遅くまで続きました。

電気科の生徒にとっては、ぜひ、取得しておきたい資格であるだけに、部活終了後から終電ギリギリまで、模擬問題に取り組んでいました。

当面の日程

７月10日（金）期末考査最終日
　　マイスター（溶接）来校
11日（土）進学模試
13日（月）特別編成授業
　　マイスター（旋盤）来校
14日（火）特別編成授業　応援練習
15日（水）月曜日課　清掃活動
16日（木）防災訓練　壮行式　生徒会役員選挙
17日（金）大掃除　終業式　ＬＨＲ　他
18日（土）吹奏楽長北地区演奏会
　　高校野球山口大会（対宇部工高）